

OPERA
PALACE

Tokyo
オペラパレス

オペラパレスへようこそ

2010/2011 SEASON OPERA

ウンベルト・ジョルダーノ

Umberto Giordano

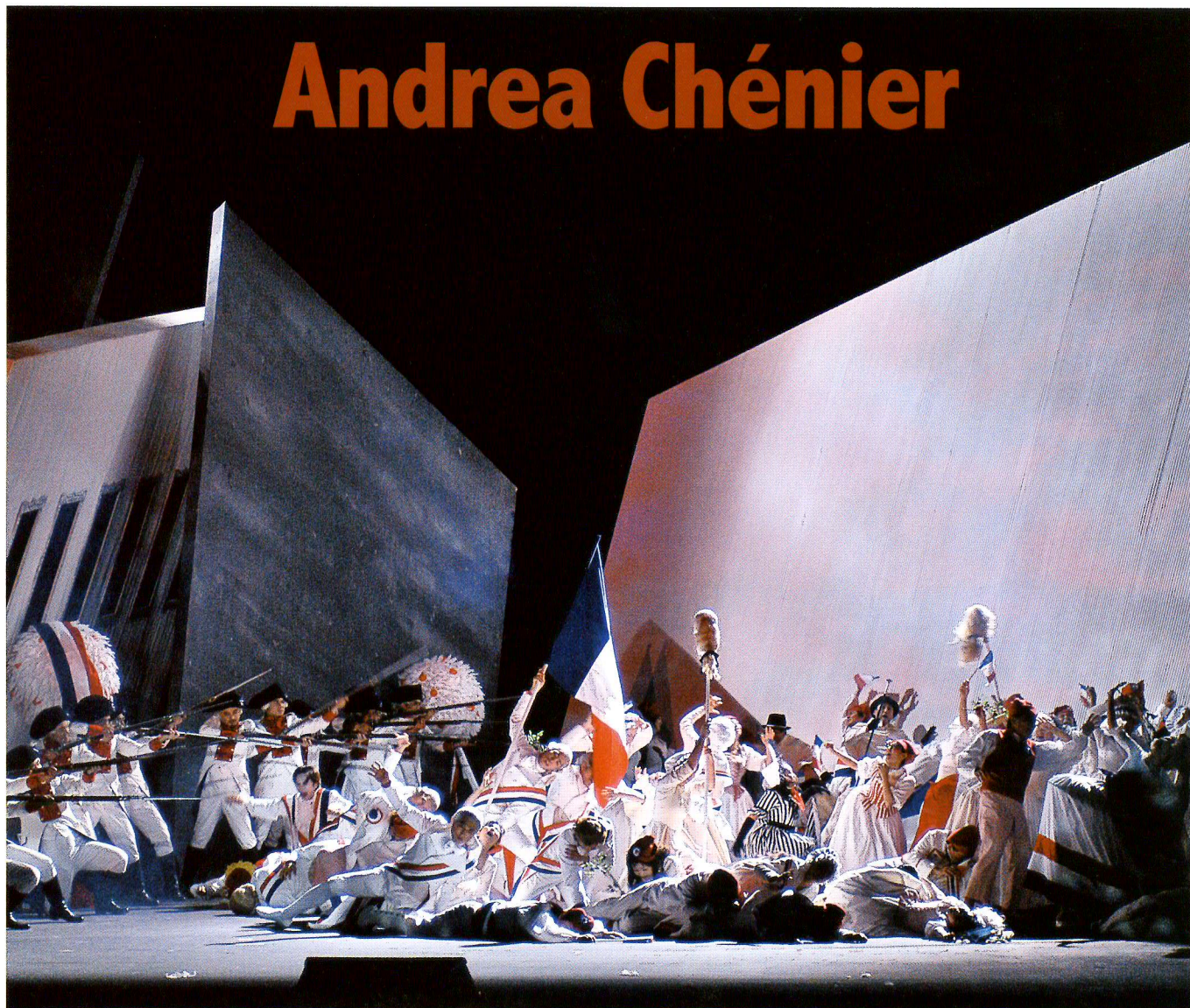


平成22年度(第65回)
文化庁芸術祭協賛公演

2010年 **11/12**[金]6:30 **15**[月]2:00 **18**[木]7:00 **21**[日]2:00 **24**[水]2:00

アンドレア・シェニエ

【全4幕／イタリア語上演／字幕付】



2005/2006シーズン公演より Stage photo: Saegusa Chikashi



新国立劇場

オペラパレス — OPERA PALACE

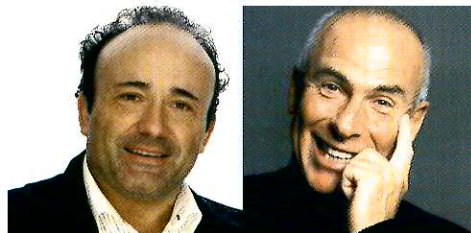
2010 / 2011シーズン・特別支援企業グループ

住友化学 TBS TOYOTA ぴあ

ボックスオフィス

03-5352-9999

<http://www.nntt.jac.go.jp/opera/>



フレデリック・シャスラン フィリップ・アルロー

指揮：フレデリック・シャスラン
Conductor : Frédéric Chaslin
演出・美術・照明：フィリップ・アルロー
Production, Scenery, Lighting Design : Philippe Arlaud
衣裳：アンドレア・ウーマン
Costume Design : Andrea Uhmman

照明：立田 雄士
Lighting Design : Tatsuta Yuiji
振付：上田 達
Choreographer : Ueda Haruka
舞台監督：斉藤 美穂
Stage Manager : Saito Miho

アンドレア・シェニエ：ミハイル・アガフォノフ
Andrea Chenier : Mikhail Agafonov
マッダレーナ：ノルマ・ファンティーニ
Maddalena di Coigny : Norma Fantini
ジェラルール：アルベルト・ガザーレ
Carlo Gérard : Alberto Gazale

ルーシェ：成田 博之
Roucher : Narita Hiroyuki
密偵：高橋 淳
Un Incredible : Takahashi Jun
コワニー伯爵夫人：森山 京子
La Contessa di Coigny : Moriyama Kyoko
ベルシ：山下 牧子
Bersi : Yamashita Makiko
マデロン：竹本 節子
Madelon : Takemoto Setsuko
マテュー：大久保 眞
Mathieu : Okubo Makoto
フレヴィル：萩原 潤
Fléville : Hagiwara Jun
修道院長：加茂下 稔
L'Abate : Kamoshita Minoru
フーキエ・タンヴィル：小林 由樹
Fouquier Tinville : Kobayashi Yoshiki
デュマ：大森 いちえい
Dumas : Omori Ichiei
家令／シュミット：大澤 建
Il Maestro di Casa/Schmidt : Osawa Ken

合唱指揮：三澤 洋史
Chorus Master : Misawa Hirofumi
合唱：新国立劇場合唱団
Chorus : New National Theatre Chorus
管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra : Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督：尾高 忠明
Artistic Director : Otaka Tadaaki

主催：新国立劇場

【あらすじ】
フランス革命前夜。
詩人シェニエとコワニー伯爵令嬢マッダレーナは運命的な出会いをする。
時は過ぎ5年後、マッダレーナは零落し、革命政府に批判的なシェニエはお尋ね者に。
かつてコワニー伯爵家の従僕で、今や革命政府の高官となったジェラルールも、
マッダレーナに思いを寄せていた。ジェラルールはシェニエを捕えるが、
マッダレーナの嘆願に打たれ、シェニエの弁護に回るものの死刑判決が下る。
マッダレーナも死刑囚の身代わりとなり、シェニエと2人断頭台へ消える。

やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



断頭台の露と消えた詩人シェニエと伯爵令嬢マッダレーナの悲恋

フランス革命前後の動乱の時代を背景に、詩人シェニエと伯爵令嬢マッダレーナの悲劇的な愛、革命思想とマッダレーナへの愛の間で揺れるジェラルールの葛藤が、美しくダイナミックな音楽で描かれたジョルダノの代表作。光と影、色彩を効果的に使い、新国立劇場の舞台機構を活かしたアルローの演出は、激動のドラマを盛り上げます。新鋭アガフォノフ、そしてファンティーニ、ガザーレらスター歌手による数々の美しくドラマティックなアリアでイタリアオペラの醍醐味をご堪能ください。

イタリアオペラの素晴らしさを皆様と共に——新国立劇場オペラ芸術監督 尾高忠明

私はイタリアオペラが大好きです。若い頃 NHK イタリアオペラの副指揮で、コッソット、テバルティ、シミオナート、パヴァロッティ、等々、素晴らしい歌声に震えました。「オペラの原点はイタリア!」今でも心からその様に思っています。今回は、数あるイタリアオペラの中から、「アンドレア・シェニエ」を選びました。この作品はイタリアの作曲家ジョルダノによるヴェリズモ・オペラの傑作ですが、非常に高い技術が歌手に要求されることもあり、日本ではあまり上演されていませんでした。国内3度目の上演となった新国立劇場の2005年のプロダクションは、フィリップ・アルロー氏の色とりどりの光が織りなす象徴的な美しい舞台が壮大なスケールのドラマを雄弁かつダイナミックに伝えており、ぜひ再演したいと思っていました。

指揮は、パリ生まれのフレデリック・シャスラン氏にお願いしました。世界で活躍する彼の流麗な音作りが、パリを舞台にした作品を華麗に彩ってくれることと思います。また、数々の美しくドラマティックなアリアを歌うのは、アガフォノフ、ファンティーニ、ガザーレなど、いま世界のイタリアオペラをレポートリーとする人気、実力ともに揃った歌手たちです。

皆様にイタリアオペラの醍醐味をご堪能いただければ嬉しい限りです。



ウンベルト・ジョルダノ：アンドレア・シェニエ【全4幕／イタリア語上演／字幕付】台本：ルイージ・イッリカ 作曲：ウンベルト・ジョルダノ LIBRETTO BY LUIGI ILLICA MUSIC BY UMBERTO GIORDANO ANDREA CHÉNIER



見果てぬ夢 —— 新国立劇場合唱指揮者 三澤 洋史

もし僕がバリトン歌手だったら演じてみたい役がいくつかある。その筆頭にあがるのが「アンドレア・シェニエ」のジェラルールだ。特に第3幕のアリア「祖国の敵か」を歌いたい。理由は二つある。まず、このアリアの中にはジェラルールの屈折した性格が引き起こすいくつかの相反する感情が同時に渦巻いており歌によってドラマを描くという点で最も優れたアリアのひとつであるということ。もうひとつは、これが単なる個人の感情の発露である事にとどまらず「フランス革命の持つ矛盾と葛藤」の姿をいみじくも表現するものであることだ。自由、平等、友愛を掲げてフランス革命が勃発した。しかしそれは、すっきりと成功してただちに夢のような民主主義が実現し、ユートピアがこの世に誕生したわけではない。むしろ革命は、フランスのその後何十年にも渡る新たな混乱の始まりにしか過ぎなかった。経済は破綻し、市民生活は革命によって楽になるどころかいっそう悲惨となる。ロベスピエールの台頭により恐怖政治が支配する一方で、革命政府に反旗を翻す周辺の国々は、フランスに対する包囲網をじりじりとせばめてゆく。革命政府の一員であるジェラルールは、マッダレーナへの横恋慕のために、恋敵であるシェニエを偽りの告訴で死刑へと追い込もうとする。しかし彼はそうした自分自身に対し、罪の意識にさいなまれ葛藤する。

「祖国の敵と言って告発しさえすれば、誰だって好きな奴を死刑にできる。でもこれが、かつて理想に燃えて起こした革命がめざした国の姿なのか?それで、お前は本当にいいのか?」このアリアは、革命への苦い挫折感を担って歌われなければならない。ジェラルールのいいところは、彼がイヤーゴやスカルピアではないところ。その後彼は、マッダレーナの真剣な気持ちに打たれて、彼女に対する欲望やエゴイスティックな気持ちを捨て去り、むしろシェニエを救おうと奔走する。ここに僕たちは共感し感動を覚える。ところがそれをばばむのは民衆だ。恐怖政治に怯える人達は、まるで他人を陥れなければ自らの命が危機に瀕するかのよう、異常な興奮状態で容赦なく生け贄を次々と断頭台に送り込もうとする。無実のシェニエも彼らの犠牲となって減んでゆく。なんという不条理! 演出家のフィリップ・アルローは、さすがフランス人だけあって、フランス革命には特別な想いがある。彼はある時、僕に言った。「僕たち(フランス人)は、フランス革命がうまくいったから、ラ・マルセイエーズを国歌に定めているわけじゃないんだ。むしろ全てが悪くなり、長い間大混乱に陥ったけれど、そのリスクを背負いながらもこの国よりも早くチェンジに踏み切った。その勇気を誇りに思っているんだ」彼は回り舞台を多用する。それはもはやメリーゴーランドかと思うくらい、ぐるぐるめぐるしく情景を変化させてゆく。回り舞台は価値の転動の象徴。前面にあったものが後方にいき、右にあったものが左にいく。もう、何が正しくて何が間違っているのかさえ分からなくなる世界。そうした舞台が不思議にジョルダノの音楽とマッチしている。情熱的でまっすぐなジョルダノの音楽は、革命という見果てぬ夢の中で翻弄されてゆく愛し合う男女を見事に描き出し、聴く者の心に決して忘れ得ぬ印象を残す。「アンドレア・シェニエ」はオペラ劇場には不可欠な作品だ。それだけに、このオペラをまだ劇場で観ていない人がいたら、僕は是非この演出で観ることを薦める。アルローのフランス人としての熱い想いが、彼の鮮やかな色彩感と相まって、この舞台に凝縮しているのだから。

主要キャスト・スタッフ プロフィール

指揮：フレデリック・シャスラン
パリ生まれ。ピアノと指揮を学んだ後、指揮活動を始めるかたわら、ピアニストとしても活躍する。これまでにウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、プレザンツ音楽祭などに登場。『セビリアの理髪師』『椿姫』『トスカ』『アイーダ』『ファルスタッフ』『イルトロヴァトーレ』『ナブッコ』『夢遊病の女』など幅広いオペラ・レパートリーを誇る。新国立劇場には2009年『トスカ』で初登場。

アンドレア・シェニエ：ミハイル・アガフォノフ
モスクワ生まれ。これまでにウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラなどに出演している。『エルナーニ』『タイトルロール』『愛の妙薬』『ネモリーヌ』『リゴレット』『マントヴァ公爵』『アイーダ』『ラダメス』『ドン・カルロ』『タイトルロール』『西部の娘』『ジョンソン』など幅広いレパートリーを誇る。新国立劇場初登場。

マッダレーナ：ノルマ・ファンティーニ
イタリア・クネオ生まれ。これまでにウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、バイエルン州立歌劇場など世界各地の主要歌劇場に出演。『オテロ』『デズデーモナ』『運命の力』『レオノーラ』『シモン・ボッカネグラ』マリアなどをレパートリーとする。新国立劇場には『アイーダ』『タイトルロール』『仮面舞踏会』『アメリカ』『トスカ』『タイトルロール』などに多数出演している。

ジェラルール：アルベルト・ガザーレ
イタリア・サッサリ生まれ。これまでにミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラなどに出演。ヴェルディを得意とし、『マクベス』『ナブッコ』『リゴレット』のタイトルロールや、『オテロ』『イヤーゴ』のほか『アンドレア・シェニエ』『ジェラルール』『トスカ』『スカルピア』『道化師』トニオなどをレパートリーとする。新国立劇場初登場。

新国立劇場 2010/2011シーズンオペラ・ラインアップ (お得意な作品! シーズンセット券好評受付中。セット券のご購入は「クラブ・ジ・アトレ」のご入会がおすすめです)

2010年10月全6公演 2/5/8/11/14/17日 (新制作) R.シュトラウス【全3幕】 アラベッラ 古き良きウイーンの薫り漂う。運命の人の愛を夢見る美人姉妹の恋物語。 指揮: ウルフ・シルマー 演出: フリッツ・アルロー 衣装: 森英恵 出演: アラベッラ: ミハエラ・カウネズデンカ、アグネーテ・ムンク、ラズムッセン/マンドリカ、トーマス・ヨハネス・マ、イヤー/マッテオ: オリヴァー・リンゲルハーン 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団	10月全4公演 10/13/16/19日 (新制作) モーツァルト【全4幕】 フィガロの結婚 花嫁の「初夜」が伯爵に奪われる!? 天才モーツァルト不朽の名作! 指揮: ミハエラ・ギョット 演出: アンドレア・ホモキ 出演: アルマ・グーヴラ、伯爵: ロレンツォ・ミハイル、アガフィノ・マッダレーナ、フィガロ: アレクサンダー・ヴァノグラドフ、サンナ: エレナ・ゴルジュン、ヴァ/ケルビー: ミハエラ・ゼーリング 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団	11月全5公演 12/15/18/21/24日 (新制作) ジョルダノ【全4幕】 アンドレア・ジェニエ 断頭台の露と消えた詩人ジェニエと伯爵令嬢マッダレーナの悲恋。 指揮: フレデリック・ジャスラン 演出: フリッツ・アルロー 出演: アンドレア・ジェニエ: ミハエラ・アガフィノ、マッダレーナ: ノルマ・ファンティーニ、ジュラル: アルベルト・ガザール 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団	12月/2011年1月全5公演 25/28/4/7/10日 (新制作) ワーグナー【全3幕】 トリスタンとイゾルデ ワーグナー至高の愛と官能の名作。待望の新国立劇場初上演! 指揮: 大野和士 演出: デイヴィッド・マクヴィカー 出演: トリスタン: ステファン・グールド/マルケ王: キド・イェンティン、イゾルデ: イレーネ・テオリノ/クルヴェナール: ユッカラ・ラジイネン/ブランゲ: エレナ・ツイトコワ 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団	2月全3公演 4/5/6日 團伊玖璃【全1幕】 夕鶴 つうの哀しみが胸深く染みる...国民的人気を誇る日本オペラの代表作。 指揮: 高岡健 演出: 栗山民也 出演: 釜淵祐子/腰越満美、つう: 経種康彦/小原香枝、運: 工藤博/谷友博、惣: 峰茂樹/島村武男 管弦楽: 東京交響楽団	2月全5公演 14/17/20/23/26日 ヴェルディ【全3幕】 椿姫 社交界の華と純朴な青年の儚い純愛。純愛オペラの決定版! 指揮: 広上淳一 演出: ルーカ・ロンコーニ 出演: ヴィオレッタ: パトリツィア・チョフィ、アルフレード: ウーケン・キム、ジェルモン: ルチオ・ガッロ 管弦楽: 東京交響楽団	3月全6公演 15/18/21/24/27/30日 (新制作) ブッチーニ【全4幕】 マノン・レスコー 狂おしいまでに愛された美少女マノンの物語。ブッチーニの出世作。 指揮: リカルド・フリッツ 演出: ジルバール・デフロ 出演: マノン・レスコー: スヴェトラ・ヴァッレ、ヴァ・デ・グリュ: グスターヴ・ボルト、レスコー: ダリボル・イエニス 管弦楽: 東京交響楽団	4月全6公演 7/10/13/16/19/22日 R.シュトラウス【全3幕】 ばらの騎士 豪華絢爛なウイーンの煌めき。オペラの醍醐味これに極まる! 指揮: クリステア・アルミン 演出: ジョナサン・ミラー 出演: 元帥夫人: カミラ・ニールト/オックス男爵: フランツ・ヴァルタ、オクタヴィアン: ダニエル・シンドラム/フアン・ペーター・エーデルマン/ゾフィー: アニヤ・ニーナ・バーマン 管弦楽: 新日本フィルハーモニー交響楽団	5/6月全5公演 29/2/5/8/11日 (新制作) モーツァルト【全2幕】 コジ・ファン・トゥッテ 貴方の恋人は誠実? モーツァルトによる恋愛コメディを新制作で。 指揮: バオ・カリニヤニ 演出: ダミアノ・ミキエレット 出演: フィオレ・ラ・ニ、アンナ・サムイル、ドラベッラ: ダニエル・ニ、デスビーナ: エレナ・アラゴワ/ナフェルランド、デミトリ・コルチャック、グリエルモ: アドリアン・ローマン・トラカール 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団	6月全5公演 6/9/12/15/18日 ブッチーニ【全2幕】 蝶々夫人 愛を信じ、愛ゆえに死を選んだ蝶々さんの悲劇。涙を誘う感動作。 指揮: イヴ・アペル 演出: 栗山民也 出演: 蝶々夫人: クリステア・オボライズ、ピンカーン: ギラン・トロヴィッチ、シャープレス: 甲斐栄次郎 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団
---	--	--	--	--	---	---	--	---	--

25歳以下の若者のための特別優待

アカデミックプラン

◆ 新国立劇場主催公演が特別優待料金でご覧いただけます。
(初日の2週間程度前に残席がある場合にメールでお知らせ)
オペラ: S, A席のチケットが原則として 5,000円
バレエ・コンテンポラリーダンス・演劇: 原則として定価の半額

◆ 「青少年のためのオペラ・ゲネプロ見学会」としてゲネプロ(本番前の舞台稽古)に抽選でご招待。
(実施の1ヶ月前にメールでお知らせします)

まずは登録!
パソコンから → <http://www.nntt.jac.go.jp/academic/>
携帯から → <http://nntt-e-get.jp/m/>

2010/2011シーズンガイド完成

オペラ、バレエ、コンテンポラリーダンス、演劇の公演情報と劇場施設に関する便利な情報満載のガイドブックが完成しました(無料)。各劇場インフォメーションカウンターまたはボックスオフィスにて配布しております。どうぞご利用ください。

前売開始
2010年6月19日(土)10:00~ (※1)
Booking Opens from Sat.19th Jun. 2010 10:00am

ボックスオフィス **03-5352-9999**
Webボックスオフィス(PC、携帯共通)
Web Box Office
<http://pia.jp/nntt/>
携帯版ボックスオフィスはこちらから →

■ チケット取り扱い
(D席のお取り扱いにはボックスオフィスとチケットぴあのみです。)

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 347-380)
インターネット予約 <http://pia.jp/t> (PC&携帯)

イープラス <http://eplus.jp/> (PC&携帯)

チケットWeb松竹
<http://www1.ticket-web-shochiku.com/p/> (PC)

CNプレイガイド
<http://www.cnplayguide.com/> (PC&携帯)

ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード 31703)
<http://l-tike.com/> (PC&携帯)

東京文化会館TS 03-5685-0650

JTB・近畿日本ツーリスト・日本旅行・トップツアーほか

■ 座席と料金 (税込) オペラ・バレエ 1,792席

上質のオペラを納得のプライスで。

S席	21,000円
A席	15,750円
B席	10,500円
C席	6,300円
D席	3,150円
Z席	1,500円(※2)

※1 発売初日に限り、D席のお申し込みは1人合計2枚まで。
※2 Z席42席は、公演初日に先がけて全日程各20枚を新国立劇場Webボックスオフィス(PC&携帯)にて抽選販売いたします。抽選販売の残席と22席を公演当日ボックスオフィスにて一般発売。いずれも1人1枚、電話予約不可。

「アンドレア・ジェニエ」Z席Web抽選販売のスケジュールは以下の通りです。

Z席 Web抽選受付期間	2010/11/10(水)11:00~11/11(木)11:00
Z席 Web抽選結果発表	2010/11/11(木)18:00頃

託児室 <キッズルーム> 『ドレミ』 各公演一般発売日より受付開始。来場予定日の1週間前までに下記まで電話予約。定員制。■ 利用料金: 0~1歳 2,000円 / 2~12歳 1,000円 ■ ご予約・お問合せ: 榊小学館集英社プロダクション HAS総合保育事業部 0120-500-315 (土日祝を除く午前10時~午後5時)

■ 公演日程 (アンドレア・ジェニエ) 託児室利用可能日

2010 Nov	11/12 [金]	15 [月]	18 [水]	21 [土]	24 [水]
開演時間	6:30	2:00	7:00	2:00	2:00

● 予定上演時間: 約2時間35分(休憩含む)
● 開演は開演の45分前 ● 開演後は入場制限をいたします。
※ 11/21(日)はD席4階の一部に、11/24(水)はS席1・2階、A席2階、B席2・3階、C席3階の一部に学校団体が入る予定です。

■ 割引等のご案内

□ 高齢者(65歳以上)、学生、障害者、ジュニア割引がございます。ボックスオフィスにてお申し込みの際に、割引に利用の旨お知らせください。(高齢者、学生割引はチケット一部店舗でもご利用いただけます。他のプレイガイドでは受付できません。それぞれ、年齢を確認できるもの・学生証・障害者手帳が必要になります。)

□ 開演後、S席に残留がある場合、割引価格にて、1回目の休憩後より観劇いただけます。

□ 当日学生割引(50%割引/D席・Z席を除く): 公演当日のみボックスオフィスとチケットぴあ一部店舗で販売。1人1枚。電話予約不可。要学生証。

□ 車椅子をご利用のお客さまはボックスオフィスまでお問い合わせください。

■ 備考

□ 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。お子様も1人1枚チケットをお求めください。

□ 壁際、手摺の近く、バルコニー、上層階の一部のお座席で、舞台・字幕が見えにくい場合がございます。ご了承ください。

□ 公演日、席種によっては、お求めにない場合があります。

公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはいたしません。

■ グループでのお申し込み 10名以上でご観劇の場合は新国立劇場営業部(TEL.03-5352-5745)までお問い合わせください。

交通のご案内

■ 京王新線(都営新宿線乗入) 新宿駅より1駅、初台駅中央口直結。
KEIO NEW LINE, HATSUDAI STATION
(京王線は止まりません。)

■ 山手通り、甲州街道交差点。首都高速4号線新宿出口・初台出口すぐ。
劇場地下に駐車場があります。ご観劇の際は、駐車料金を割引いたします。
(詳しくは当日、劇場受付にてお問い合わせください。)

新国立劇場

NEW NATIONAL THEATRE TOKYO

〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1 TEL.03-5351-3011
NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO / 1-1-1 HON-MACHI, SHIBUYA-KU TOKYO JAPAN